

# あきる野市 議会だより

平成24.5.1

NO. **673**

発行／あきる野市議会 編集／議会報編集特別委員会 TEL 558-1111 〒197-0814 あきる野市二宮350



小宮小学校閉校式

第1回(3月)定例会

## 平成24年度予算482億円の中身をチェック

- 予算のつかい道が決まりました！…………… P 4
- **審議結果**  
提出された議案を慎重に審議…………… P 2
- **一般質問**  
聞いてみたいな、こんなこと（質問者17名）…………… P 6
- **視察報告**  
まちづくりに生かします…………… P 16

本会議の様様をインターネットで配信中

くわしくはP19をご覧ください

再生紙を使用しています

平成24年3月

## 定例会の概要

3 月定例会は、2月29日に開会し、3月28日まで29日間の会期で行われました。

**定** 例会初日には、平成24年度施政方針が示され、その後、市長から提案のあった議案を審議し、補正予算等の採決、議案や陳情の委員会付託を行いました。

7 日には総務委員会、8日には環境建設委員会、9日には福祉文教委員会の各常任委員会が開催され、付託された議案等の審査を行いました。

13 日から15日までの3日間は、17名の議員による一般質問が行われました。  
21 日・23日には、予算特別委員会が開催され、24年度の一般会計予算と6件の特別会計予算が審査されました。

**最** 終日の28日には、各常任委員長・予算特別委員長の委員会審査報告などを受けて、質疑・討論の後、採決が行われました。

## 3月定例会で決まったこと

### 市長提出議案（30件）

「投票の結果、賛成多数で同意」

○あきる野市監査委員の選任について  
あきる野市監査委員小川待氏が退職することに伴い、後任者として青木豊氏を選任するため議会に同意を求めるものです。任期は、平成24年4月1日から平成28年3月31日までとなります。

「投票の結果、全会一致で同意」  
○あきる野市教育委員会委員の任命について  
あきる野市教育委員会委員溝口勲夫氏が逝去されたことに伴い、その後任として丹治充氏を後任者として任命するため、議会に同意を求めるものです。任期は、平成24年3月1日から平成26年10月27日までとなります。

「全会一致で原案を可決」  
例 ○あきる野市暴力団排除条例  
あきる野市における暴力団排除活動に関し、基本理念を定め、市及び市民等の責務を明らかにす

るとともに、暴力団排除活動を推進するための措置等を定め、もって市民の安全で平穏な生活を確保し、及び事業活動の健全な発展に寄与するため、必要な事項を定めるものとす。

○あきる野市墓地等の経営の許可等に関する条例  
墓地、納骨堂又は火葬場の経営の許可等に関し、墓地等の経営の適正化及び墓地等と周辺環境との調和を図り、もって公衆衛生その他公共の福祉の確保に寄与するため、必要な事項を定めるものとす。

○あきる野市立学校施設使用条例の一部を改正する条例  
廃校後の小宮小学校の施設を継続して使用するため、規定を整備するものとす。

○あきる野市介護保険条例の一部を改正する条例  
地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、規定を整備するものとす。

に伴う関係条例の整理に関する条例  
障がい者制度改革推進本部等における検討を踏まえて障害保健福祉施策を見直すまでの間において障害者等の地域生活を支援するための関係法律の整備に関する法律による児童福祉法の一部改正に伴い、規定を整備するものとす。

○あきる野市下水道条例の一部を改正する条例  
下水道法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、規定を整備するものとす。

○あきる野市営住宅条例の一部を改正する条例  
地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、規定を整備するものとす。

○あきる野市介護保険条例の一部を改正する条例  
第5期介護保険事業計画の策定に伴い、介護保険事業の安定的な運営を図るため、介護保険料を改めるものとす。

○あきる野市職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の一部を改正する条例

公益法人制度改革により、あきる野市シルバークロスセンターでは、公益認定を受け、法人名を変更することから、規定を整備するものです。

○市道路線の認定について  
道路法第8条第1項の規定により、あきる野市菅生203番地1先から同179番地2先までを市道路線に認定するものです。

○あきる野市十里木・長岳観光施設に係る指定管理者の指定について  
あきる野市十里木・長岳観光施設に係る指定管理者を新四季創造株式会社に指定するものです。指定期間は、平成24年4月1日から平成27年3月31日までとなります。

○あきる野市体育施設に係る指定管理者の指定について  
あきる野市体育施設に係る指定管理者をシンコースポーツ・山武共同事業体に指定するものです。指定期間は、平成24年4月1日から平成27年3月31日までとなります。

○東京都市町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について  
一部事務組合議会議員の公務上又は通勤による災害に対する補償に関する事務を共同処理するため、新たに加入させるもの及び、東京都市町村議会議員公務災害補償等組合管理者の選任方法を改正するものです。

○東京都市町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について  
一部事務組合議会議員の公務上又は通勤による災害に対する補償に関する事務を共同処理するため、新たに加入させるもの及び、東京都市町村議会議員公務災害補償等組合管理者の選任方法を改正するものです。

○東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約  
後期高齢者医療の保険料の軽減に係る経費を、各区市町村の一般財源から分賦金として支弁することとするため、規約の変更をするものです。

【賛成多数で原案を可決】  
○あきる野市税賦課徴収条例の一部を改正する条例  
経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための地方税法及び地方税法特別法等に関する暫定措置法の一部を改正する法律、地方税法の一部を改正する法律などが公布され、また東日本大震災からの復興に関し地方公共団体が実施する防災のための施策に必要な財源の確保に係る地方税の臨時特例に関する法律が施行されたため、規定を整備するものです。

○あきる野市立学校設置条例の一部を改正する条例  
戸倉小学校を閉校し、五日市小学校へ統合するため、規定を整備するものです。

○あきる野市立学校設置条例の一部を改正する条例  
戸倉小学校を閉校し、五日市小学校へ統合するため、規定を整備するものです。

○あきる野市立学校設置条例の一部を改正する条例  
戸倉小学校を閉校し、五日市小学校へ統合するため、規定を整備するものです。

○平成23年度補正予算  
【全会一致で原案を可決】  
○平成23年度あきる野市一般会計補正予算(第5号)  
○平成23年度あきる野市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)  
○平成23年度あきる野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

○平成23年度あきる野市介護保険特別会計補正予算(第3号)  
○平成23年度あきる野市下水道事業特別会計補正予算(第4号)  
○平成23年度あきる野市テレビ共同受信事業特別会計補正予算(第2号)

○平成23年度あきる野市テレビ共同受信事業特別会計補正予算(第2号)  
\*補正予算額については下表をご覧ください。

○平成24年度あきる野市国民健康保険特別会計予算  
○平成24年度あきる野市後期高齢者医療特別会計予算  
○平成24年度あきる野市介護保険特別会計予算

○平成24年度あきる野市介護保険特別会計予算  
○平成24年度あきる野市倉財産区特別会計予算  
○平成24年度あきる野市下水道事業特別会計予算  
○平成24年度あきる野市テレビ共同受信事業特別会計予算

○平成24年度あきる野市後期高齢者医療特別会計補正予算  
\*平成24年度予算についてはP5をご覧ください。

議員提出議案(2件)  
【賛成多数で原案を可決】  
○第32回オリンピック競技大会及び第16回パラリンピック競技大会東京招致に関する決議

【全会一致で原案を可決】  
○「こころの健康を守り推進する基本法(仮称)」の法制化を求める意見書

【採択】  
○「こころの健康を守り推進する基本法(仮称)」の法制化を求める意見書提出に関する陳情

【不採択】  
○東京都に対して保育所の居室面積などひき下げた条例としないことの見書提出を求める陳情

動議(1件)  
【賛成多数で原案を可決】  
○議長不信任動議

平成23年度 会計別補正予算額

区分	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計(第5号)	310億9069万8千円	△16億1372万9千円	294億7696万9千円
特別会計			
国民健康保険(第2号)	85億9709万9千円	1億7094万9千円	87億6804万8千円
後期高齢者医療(第2号)	13億3928万3千円	519万8千円	13億4448万1千円
介護保険(第3号)	42億9226万2千円	△1億2595万7千円	41億6630万5千円
下水道事業(第4号)	30億9486万7千円	△7281万8千円	30億2204万9千円
テレビ共同受信事業(第2号)	1億1527万円	△2800万円	8727万円

# 平成24年度予算を可決

## 予算特別委員会を設置し集中審査

平成24年度の一般会計予算及び6件の特別会計予算は、3月21、23日に議長を除く全議員で構成する予算特別委員会において、審査が行われました。

委員会では、活発な質疑が行われ、慎重な審査の結果、一般会計予算及び6件の特別会計予算は、すべて原案のとおり可決されました。

本会議最終日において、予算特別委員長が審査報告を行い、その報告を受け、討論が行われました。その後、一般会計予算及び6件の特別会計予算の採決が行われ、すべて原案のとおり可決されました。



予算特別委員会での採決

### 一般会計予算に対する討論

#### 反対

日本共産党  
あきる野市議団

歳入の根幹をなす個人市民税は、年少扶養控除等の廃止による約2億円の増を除くと約1億4600万円の減少。給与収入は、1人当たり前年比年2万9000円の減となっており、市民の暮らしは大変である。

歳出では、保育園・学童クラブの待機児解消、高齢者見守り事業、学校の施設整備費など、一定の前進は評価する。しかし、るのバスは1台のままで、小中学校のエアコン設置も計画されない。一方、武蔵引田駅周辺地区土地区画整理事業経費には、約1300万円計上。着工の見通しが立たない当事業は、計画見直しの必要がある。郷土の恵みの森事業には、今年度約2763万円計上。当市の60%を占める山林が対象の当事業には、今後、際限ない出費が危惧される。

地方自治法の精神に立ち返り、税金の使い方を改めるよう求め、反対討論とする。

#### 賛成

志清会

新年度の一般会計予算は、平成23年度比で1.9%減の304億250万円だが、最優先に取り組んだ、全小中学校の耐震化事業が23年度で完了したことや、職員採用の抑制等による人件費の削減など、行政改革の取り組みによるものと理解している。

厳しい経済環境にあっても、財政調整基金を、現在の9億円台から16億円まで目指し、財政健全化に取り組むことは大いに評価できる。また、志清会として要望した防災対策を重点的に進めていただき、地域の安心・安全につながるものと高く評価する。

その他、秋川溪谷観光プロモーション事業、環境都市あきる野の実現に向けた取り組みや、子育て支援策として、待機児童の解消を図るなど、各分野にわたり市民生活の諸課題に対応した予算となっており、その成果に期待する。

一方、昨年、東日本大震災から1年が過ぎたが、未だ多くの行方不明者と避難生活を余儀なくされている方々の1日も早い復旧復興を願っている。これまでの震災の教訓を、今後の施策に活かすことこそ、私たちの役割と強く思い、賛成討論とする。

# 平成24年度 会計別当初予算額

区 分		平成24年度	平成23年度	増 減 率
一	般 会 計	304億250万円	310億410万1千円	△1.9%
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	85億4963万2千円	82億1873万6千円	4.0%
	後 期 高 齢 者 医 療	14億2791万8千円	12億7346万1千円	12.1%
	介 護 保 険	45億1710万3千円	42億2387万5千円	6.9%
	戸 倉 財 産 区	2590万5千円	1400万2千円	85.0%
	下 水 道 事 業	32億7192万円	30億7777万4千円	6.3%
	テ レ ビ 共 同 受 信 事 業	4374万8千円	1億651万2千円	△58.9%
合 計		482億3872万6千円	479億1846万1千円	0.7%

## 賛成

### 政和会

平成24年度の一般会計歳入歳出予算総額は、前年度予算ベースに比べて、1.9%減の304億250万円となっている。自主財源確保については、23年度までの実績としてPPSからの電力受給、未利用財産処分など職員からの提案による成果については評価する。

歳出については、概ね効率的に配分されていると理解するが、公債費は23年度とほぼ同額の26億8827万7千円に対して、市債の発行額が34億1553万1千円であるから、新たな起債額と返済額がアンバランスになっていることは一般常識からは歪めるところである。今後も自助努力による財源確保を図り、市民生活の安寧を視野に入れ、行政運営に努力して頂くことを強く要望する。

24年度一般会計予算については、限られた予算の中で市民福祉の向上に向けて最大限努力された職員のご苦労に敬意を表し、本予算に賛成する。

## 賛成

### 公明党

一般会計は、前年度比で1.9%減の304億250万円である。このうち、主な事業として福祉・健康分野での、子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチン接種の継続や高齢者の肺炎球菌ワクチン接種の新たな助成などは、公明党が強く主張してきた事業であり、高く評価する。

教育分野では、小規模学校対策による小学校の統合に伴い、138年の歴史を持つ小宮小学校の閉校式が3月25日に行われ、校旗が市長へ返納された。戸倉小学校も24年度をもって閉校となる。また、24年度よりスクールバスの運行が始まるが、児童への安全対策や施設の活用など、万全の体制で取り組んでいただきたい。

防災対策では、防災計画に女性の視点や保健師など専門職の視点を反映させ、地域の防災力向上につながるよう積極的な取り組みを願うものである。

行財政改革では、財政調整基金の増など財政状況の改善がみられるが、今後も、事業内容や実施方法などの点検・見直しを進め、更なる改革をお願いしたい。

厳しい社会動向を見極めつつ市民ニーズに応え安心して生活できるよう、堅実な市政運営に努めていただくことをお願いし、賛成討論とする。

## 賛成

### 新風会

我が国の経済は歴史的な円高も徐々に改善に向かい、2月の貿易収支も5ヶ月ぶりに黒字に転じ、株価も日経平均が1万円を超えるまでに回復しつつあるものの、先行きの不透明感には拭えない。一般会計予算の歳入では市税が約5700万円の増加となるが、平成23年度の決算見込みと比較すると、2億円近い減少となるなど依然として厳しい財政状況にあって、限りある財源の中、災害に強いまちづくりへの取り組み、超高齢化社会への対応、子育て支援、産業の活性化や環境保全など幅広い取り組みが随所に盛り込まれ高く評価する。教育の振興については学校設備の整備に関し、環境への順応力や地球温暖化防止の観点なども今後十分に議論の必要がある。小宮小学校の五日市小学校への統合に際し、ご尽力とご決断された宮林徹教育長と前教育委員長である故 溝口勲夫様に敬意を表します。今後、子ども達にとって一時的に苦勞するかも知れないが、多くの友達との共同生活の中で、切磋琢磨しながら成長していくという教育的効果は何ものにも代えがたいものと信じている。

## 賛成

### 民主党

今日の厳しい経済情勢の中であるが、一般会計は平成23年度当初に比べ1.9%減となった。歳入では市税が23年度当初に比べ0.6%増となり、歳出では、災害に強いまちづくりへの取り組み、生物多様性地域戦略の策定に向けた取り組み、産業の活性化、福祉の充実などが事業増となっている。

今後、歳入が減少し、行政需要が増大していく現状を考えると、財政の健全化は最重要課題である。これからは税金、自治会を頼らない事業展開をすることも視野に入れ、限られた財源を有効かつ効率的に活用し、さらに施策の重点化を図ること。また、我々の予算需要が十分反映されているとは思えないが、政府が重視する緊急雇用創出事業、生活道路整備、道路維持補修、児童福祉に係る予算増は評価できる。

そして、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく23年度決算見込みは、4指標水準において健全化の対象にならないことが見込まれるので賛成討論とする。